

期日前投票所inキャンパス(松山市)

【取組概要】

大学内に期日前投票所を開設し、若者にとって選挙をより身近に感じる環境をつくることにより、政治に対する関心を喚起し、社会問題となっている若年層の投票率の低下に歯止めをかけ、将来的な投票率の底上げを狙うものである。

【取組みの効果】

【H25年参議選】

- ・利用者数652名
- ・20代前半投票率2.72pt上昇(H22参議選との比較)比較

【H26市議選】

- ・利用者数723名
- ・20代前半投票率0.64pt上昇(H22市議選との比較)比較

【他団体へのアドバイス】

政治の関心を高めるため、民間団体と行政がすべきことを明確にし、可能な部分は連携していくことが重要と考える。一定規模の大学や専門学校等がある自治体は、是非チャレンジされ、学生や若者自身が投票率を競い、全体の投票率も向上していくというのが理想的な展開だと考える。

【創意・工夫した点】

- ・受付方法の変更による経費削減
- ・学生支援スタッフ「選挙コンシェルジュ」による若者視点を反映したPR活動(街頭啓発物資の作成、選挙啓発CMの企画・撮影・編集、選挙カフェ設置)等

人口 517,711人

担当部署 松山市選挙管理委員会

取組み事例のURL

<https://www.facebook.com/matsuyamasenkan>



期日前投票所前での周知活動風景



大学構内での啓発活動風景